

2019 年度 第 1 回幹事会議事録

日時：2019年7月25日（木）

場所：JXホールディングス六本木クラブ

出席者（敬称略）：町田、永田、湯浅、小谷、土居、長谷川、松村、真壁、岩田

安田、品田、竹内、俵、原、藤本、青木、腰高、荒木、松尾（19名）

【報告事項】

1. 現役報告（青木さん）

- ・春連盟戦（12チーム／トーナメント）⇒2回戦敗退 ※1位…立教、2位…早稲田、3位…明治
- ・現役在籍人数多い（4年／5名、3年／17名、2年／18名、1年／25名）
ただし、試合への参加は10名前後。
- ・楽籠大会⇒体育館確保出来れば、下記候補日にて開催予定
①9月21日（土）②9月28日（土）③10月5日（土）④10月12日（土）
- ・夏合宿を「9月15日」頃から実施予定

2. 就職活動支援／OB訪問状況について（青木さん）

- ・就職内定情報⇒森主将／SMBC、落合／オリエンタルランド、福津主務／継続中
太田／理工・院生、光田／3年生
- ・現在、3年生の夏にインターンを行うのが普通になってきている。

3. SO（真壁さん）

- ・湯浅さんが副理事長を退任し、真壁さんが副理事長に就任。
- ・7/21、支援してくれる外国系企業を集めて試合実施。日本系企業にも支援の輪を広げることが課題。
- ・慶應義塾高等学校、トキワ松学園等、多くの学校がボランティア参加に意欲を見せてくれている。
- ・SO日本・東京が「25周年」を迎え、その功績を讃えて「朝日新聞（2019年3月）」に記事掲載

4. 年会費状況報告（荒木さん）

- ・2019年度収納率⇒80.5%（2018年度78.7%）、実質収納率は86.7%（前年85.3%）に
- ・年会費請求対象OB数は、近年「380名程度」で推移。
- ・収納者数は、2018年度比「10名増」の「306名」。
基本は「自動引落」だが、「10名」は「振込」。内4名は年会費振り込み催促による。

5. 2019年度OB総会の日程について（腰高さん）

- ・「2020年3月14日（土）12～15時 @ OLD MAN' S UN 丸の内」にて開催
- ・今回は「22期」が還暦祝い
- ・例年より早い開催だが、翌週3連休の為前倒し

6. 連盟50周年の収支、繰越金についての最終報告（腰高さん）

- ・「約437千円」の余剰金が発生。本余剰金については、次回の使途の起案あるまで、50周年実行委員会事務局であった楽籠OB会にて管理。実行委員各位（各大学）に通知し、了解を得ている。

【審議事項】

1. 過去の文献、資料、モノについての集積・保存・アーカイブについて（腰高さん）

・今後の流れについては下記の通り対応。（①②で半年程度を予定）

- ① 楽籠 50 周年イベント開催、会場展示用に集めた記念の品々が提供者に戻されていない。
取り纏め・管理していた方々からひとまず回収し、その他の品々も合せ、どこにどれだけのものが存在するのかを情報収集・把握。
別途、各代幹事をはじめ、必要な皆さんに連絡、依頼をおこなう。
- ② 集めるモノを特定し、情報提供の依頼をした上で、現物提供の可否を確認。可能であれば「腰高さんオフィス」へ集積。オーバーフローしたら「トランクルーム」を借りる等して対応。
- ③ 集積されたものを確認し、「デジタル化・アーカイブ化・閲覧化」などを検討。

※楽籠注目の「1号」が見当たらないが、そもそも「存在する？」

※川先の文集等含め、集積するものは「楽籠」に関するもののみ。

2. 湯浅副会長からの提言に関する審議、意見交換

⇒次回幹事会にて審議することで、準備をおこなう（特に下記②③について）。

① 楽籠OB会発足前後の経緯説明（湯浅さん）

⇒1980年10月に川先ご逝去。

1981年より川先杯（ゴルフコンペ）スタート。

1990年、体育館建設楽籠基金を募るべくOB会設立を検討し、会長を1期から選任して発足。

※10期／斎藤さんが運営規定・会則作成

1995年、第1回海外遠征実施（タイ）。以後2年おき程度で実施。

② 30期以降の幹事会への出席率UPについて（湯浅さん）

⇒（松村さん）「幹事会の活性化＝OB会の活性化」。少なくとも、幹事会出欠回答はするべき。

何故楽籠OB会が継続出来ているかを考える必要はないか？

今までOB会会員は増え続けるのみだったが、今後減ることを想定するべき。

（小谷さん）「名簿作成（紙ベース）」「会費徴収（高収納率）」「会報作成（カラー化）」が出来るようなクラブは他にない！！これが楽籠OB会。

（腰高さん）総会では、還暦祝いを貰った人達が翌年以降も出席する傾向が見られている。

今年度は22期が還暦祝いを手渡される番。あと数年もすれば30期代に突入。

名簿作成に関していえば、30期代・50期代が誰よりも早く回答。

年会費未納でも、いつも学生向けの就職ガイダンスで活躍してくれたり、総会で新OB向けに毎年「日本酒（若き血）」を送ってくれたりなど、年会費以外の部分で貢献しているOBもいる。

幹事会出席、年会費納入をあまりガリガリ言うよりも、それぞれのイベント等が各代での安否確認や近況報告等繋がるチャンスになれば良いのでは。

（真壁さん）卒業10、15、20年でミッションを与えれば良いのでは？

若手に対する手段を本気で考えるべき。

（原さん）楽籠を継続する理由は3つ。「受容性」「組織力」「強い」。

② 80歳以降の年会費を免除し「寄付制」に、70歳以降の年会費を現行の半額6,000円／年に。

更に、楽籠年度経費の削減（楽籠注目の発行を年1回へ等）を検討（湯浅さん）

③ 楽籠の会長は「1期（十籠）」。

1期がいなくなったらどうするのか？（湯浅さん）

3. 原さんからの起案

1年以内に下記実行をコミットする。

①楽籠OB会／工学部会の創設

②楽籠OB会／データ分析

以上